

予算決算常任委員会議事日程

平成28年6月14日（火）午前10時00分開議

議事日程

- 第 1 補正予算議案の詳細説明
- 第 2 補正予算議案の全体質疑
- 第 3 補正予算議案の審査報告書について

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

出席委員（17名）

委員長 山 崎 道 夫 委員	
赤 丸 秀 雄 委員	水 本 淳 一 委員
廣 田 清 実 委員	高 橋 安 子 委員
齊 藤 正 範 委員	村 松 信 一 委員
昆 秀 一 委員	藤 原 梅 昭 委員
川 村 農 夫 委員	高 橋 七 郎 委員
長 谷 川 和 男 委員	川 村 よし子 委員
小 川 文 子 委員	藤 原 由 巳 委員
藤 原 義 一 委員	米 倉 清 志 委員

欠席委員（なし）

矢巾町議会委員会条例第19条の規定により出席した説明員は次のとおりである。

副 町 長 伊 藤 清 喜 君	総務課長補佐 田中館 和 昭 君
企画財政課長 藤 原 道 明 君	会計管理者 兼税務課長 佐 藤 健 一 君

住 民 課 長	浅 沼 仁 君	福 祉 •	菊 池 由 紀 君
健康長寿課長	佐々木 順 子 君	子 ど も 課 長	
道路都市課長	菅 原 弘 範 君	産 業 振 興 課 長	菊 池 清 美 君
上下水道課長	山 本 勝 美 君	農 業 委 員 会	野 中 伸 悅 君
教 育 長	越 秀 敏 君	局 長	松 尾 光 則 君
社会教育課長	山 本 功 君	教 育 委 員 長	田 村 英 典 君
		学 務 課 長 補 佐	村 松 徹 君
		校 园 給 食 共 同	
		調 理 場 所 長	

職務のために出席した職員

議会事務局長	吉 田 孝 君	係 長	藤 原 和 久 君
主 事	渡 部 亜由美 君		

午前10時00分 開議

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 会議に先立ちお諮りいたします。

本委員会の傍聴者には、委員会条例第17条第1項の規定により傍聴の許可をしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 異議がないようありますので、許可することに決定いたします。

ただいまの出席委員は17名であります。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

ただいまから本日の予算決算常任委員会を開会をいたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 直ちに予算決算常任委員会の会議に入ります。

議事日程の報告

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

これにより本日の議事日程に入ります。

日程第1 補正予算議案の詳細説明

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 日程第1、補正予算議案の詳細説明を行います。

付託を受けました議案第48号 平成28年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）について詳細説明を受けたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） ご異議ないようありますので、議案第48号 平成28年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）の詳細説明を求めます。

藤原企画財政課長。

○企画財政課長（藤原道明君） 町長の命によりまして、議案第48号 平成28年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）の詳細についてご説明いたします。

11ページをお開き願います。説明は、款、項、目、補正額の順に行います。説明欄につきましては、特記事項のみとさせていただきます。

それでは、歳入、13款国庫支出金、1項国庫負担金、1目民生費国庫負担金254万9,000円。2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金381万円、2目民生費国庫補助金84万2,000円、こちらは新規でございますので説明いたしますが、子どものための教育、保育事業費補助金といったとして、保育料軽減のためのシステム改修に充当されるものでございます。

続きまして、14款県支出金、1項県負担金、1目民生費県負担金127万4,000円。2項県補助金、1目総務費県補助金976万8,000円、こちらにつきまして新規が2件ございます。4節の地域経営推進費補助金でございますが、こちらはおでんプロジェクト及び図書購入に充当されるものでございます。また、5節地域公共交通活性化推進事業費補助金につきましても新規でございますが、鉄道、バス、タクシーも含めました包括的な地域公共交通網の詳細及び計画策定に充当されるものでございます。

ページを返していただきまして、17款繰入金、2項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金1億5,927万円、こちらにつきましては、この補正によりまして残高が13億3,617万6,000円となります。続きまして、4目肉用牛貸し付け譲渡基金繰入金908万9,000円、5目肥育牛貸し付け譲渡基金繰入金2,255万2,000円、この2つの基金につきましては、いずれも本年度の4月1日に廃止された基金でございますので、その基金を一般会計に繰り入れるというものでございます。

続きまして、19款諸収入、4項雑入、1目雑入20万円、こちらも新規でございます。地方創生アドバイザー事業助成金としてアドバイザーへの謝礼に充当されるものでございます。

15ページにまいります。歳出の補正予算ですが、人件費に関するものは、全て人事異動に伴う補正となっております。また、議会運営事業、職員研修事業におきまして、先進地の状況を研修して計画に反映させるべく旅費と費用弁償等を計上いたしております。

それでは、詳細を説明いたします。説明欄につきましては、歳入同様特記事項のみとさせていただきます。歳出、1款議会費、1項議会費、1目議会費172万1,000円。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費98万8,000円、5目財産管理費48万9,000円、6目企画費746万円、ページを返していただきまして9目コミュニティ対策費130万円、10目電子計算費19万7,000円。2項徴税費、2目賦課徴収費116万3,000円。3項戸籍住民基本台帳費、1目戸籍住民基本台帳費377万6,000円。

3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費761万5,000円、2目障害福祉費514万5,000円、こちらにつきましては、主なものは障害者支援事業の増となっておりますが、これは更生医療費給付費の給付対象者の増に伴うものでございます。続きまして、3目老人福祉

費36万1,000円、5目雇用センター費59万円。2項児童福祉費、3目児童福祉総務費324万9,000円。

ページを返していただきまして、4款衛生費、1項保健衛生費、1目保健衛生総務費△172万円。2項環境衛生費、2目環境保全費22万3,000円。

6款農林水産業費、1項農業費、3目農業振興費62万2,000円、5目農地費201万3,000円。

7款商工費、1項商工費、4目観光費ゼロ。財源更正でございます。5目自然公園施設費212万3,000円。

8款土木費、2項道路橋梁費、2目道路維持費1,137万6,000円、こちらにつきましては、舗装補修を早急に実施する必要性が認められました3路線の工事請負費に係るものでございます。続きまして、3目道路新設改良費1億1,287万円。ページを返していただきまして、こちらの補正ですが、矢巾スマートインターチェンジ整備事業に係るもののが主なものでございます。内訳は、説明欄のとおりでございますが、工事請負費につきましては、スマートインターチェンジの付替道路に関するもの。また、矢巾スマートインターチェンジ整備事業費負担金につきましては、当初予算で1億100万円計上しておったものでございますが、5月9日付でネクスコ東日本から増額の必要性が認められる提示がありました関係で今回補正するものでございますが、合わせまして2億300万円となるものでございます。

続きまして、4項都市計画費、1目都市計画総務費203万円、5目公園費84万6,000円。5項住宅費、1目住宅管理費3,717万円、こちらの主なところでございますが、住宅改修事業の増となってございます。こちらは、三堤住宅4号棟に係るもので壁面補修を実施する必要が認められたということでの補正でございます。

続きまして、10款教育費、1項教育総務費、3目教育振興費25万4,000円。4項社会教育費、2目公民館費503万円、こちらにつきまして歳入のところでもご説明いたしました地域経営推進費のところが確定したことによりまして増額したものでございます。当初予算と合わせて1,003万円の図書購入費となるものでございます。

ページを返していただきまして、5項保健体育費、2目体育施設費196万6,000円、3目学校給食費49万7,000円。

以上をもちまして議案第48号 平成28年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）の詳細説明を終わります。よろしくお願ひいたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） これで議案第48号 平成28年度矢巾町一般会計補正予算（第1号）の詳細説明を終わります。

日程第2 補正予算議案の全体質疑

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 続きまして、日程第2、補正予算議案の全体質疑を行います。

お諮りします。歳入歳出を一括して質疑を行いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） ご異議ないようありますので、一括して質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、事項別明細書のページ数をお知らせ願います。また、質疑のルールでありますが、回数制限を設けない一問一答方式といたしますが、簡単な質疑の場合は、何点かまとめてよいことといたしたいと思います。

それでは、質疑を行います。質疑ございませんか。

13番、川村よし子委員。

○（川村よし子委員） 何点かありますが、まず一問一答でお伺いします。

ページ数で15ページ、総務費の6目の企画費、地域公共交通網形成計画策定支援委託料なのですけれども、この708万5,000円なのですけれども、どのような計画なのか。それから、これはどのような方たちが参加してなっているのか、そこら辺を教えてください。そしてこちらの案としては、どのようにしたいので、こういう経費が盛り込まれたのかお伺いします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 藤原企画財政課長。

○企画財政課長（藤原道明君） ただいまのご質問にお答えいたします。

こちら先ほども説明いたしましたが、鉄道、バス、タクシーも含めて包括的なということになっております。そもそもがこちらの計画につきましては、今いろいろ問題になってございますが、さわやか号の運行についての、やはり抜本的なところからいろいろ考えなければならないのではないかということに対応して、こちらの計画を策定すべきというふうに判断して、今回計上させていただいたものでございますが、実際のところは昨年度のうちから県のほうには補助金のほうを要望しておりましたが、なかなか交付決定がおりなかつたということもありまして、当初予算に計上できなかつたものでございまして、それを今回確定に合わせまして補正予算に計上させていただいたものでございます。

こちらにつきましては、有識者等からご意見を頂戴しながらまとめるというふうな形には

なります。あと最終的には成果品として100部ほど増刷しながら配付できるようなものというふうに考えてございます。具体的な内容につきましては、その議論の中からいろいろ出てくると思いますけれども、いずれ先ほど言いましたように、バスのみならず包括的な公共交通網ということがどうあるべきか、矢巾にとってどういう形が望ましいのかということをひとつまとめる形にはなろうかと思います。

ただ、この計画策定で全てがバラ色になるともちよつと現実的には考えにくいものです。当然に民間で賄われて全然問題がないのであれば、特に議論の必要もないわけでございますが、現状としては、非常に利用、さわやか号について言えば、利用も低い、バス路線につきましても県交通のほうでことし、去年という段階でなくとも徐々に路線数が減ってきているとか、そういう状況もございますので、そういう厳しい状況の中でどういう形が望ましいのかを取りまとめるということを目指しているものでございます。

以上、お答えとします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 川村委員。

○（川村よし子委員） 町内を回りますと、大白沢とか、それから和味、南昌とか、交通弱者、お年寄りの方たちとか、子どもたちも含めて、やっぱり便利なさわやか号とか乗物、そういうのを希望する方がいらっしゃるのですけれども、そういうアンケートとか、そういうのはどのようにになっていったのか。そしてそれは有識者の中にはどのように伝わるのかお伺いします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 藤原企画財政課長。

○企画財政課長（藤原道明君） アンケートにつきましては、昨年度さわやか号についての運行のアンケートはとっておりますので、その内容は、今回の計画策定に当然用いながら、というふうになろうかと思っております。アンケートの内容そのものの結果につきましては、済みませんが、現在手持ちにございませんので、詳細をお答えしかねるのですが、いずれアンケートはとてございますし、開示が求められれば、別に開示も構わないと思っておりますので、以上お答えいたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 川村委員。

○（川村よし子委員） やっぱり交通弱者の方たちはたくさんいます。ですので、やはりこれはきちっとやって助成をするとか、さわやか号が走れなかつたならば、タクシーとか、そういう利用をさせるような方法等やつたほうがいいと思うので、まず意見としてお話をさせていただきます。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほか質疑ございますか。

昆秀一委員。

○（昆秀一委員） 16ページの一番下のマイナンバー関連業務交付金ですけれども、これはどのようなものに使うということでしょうか。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 浅沼住民課長。

○住民課長（浅沼 仁君） ただいまの質問にお答えいたします。

マイナンバー関連業務交付金の使い道ということでございますが、こちらのほうの歳入のほうにも同額が補助として来ております。これは、以前からもお話ししているとおり、マイナンバーについては、国のほうで今は経費を持っているということですので、申請があった分のカードをつくるということにつきましては、国から交付金をいただいて、それをJ-LISという機関にお支払いをしましてカードをいただくという形のものでございますので、その経費でございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 昆秀一委員。

○（昆秀一委員） カードをつくるということでしたけれども、今まで総額幾ら国からは幾ら、町からは幾ら支出されているのでしょうか。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 浅沼住民課長。

○住民課長（浅沼 仁君） ただいまの質問にお答えいたします。

申しわけございません。総額については、今資料がございませんので、後ほどお知らせしたいと思います。なお、今現在1,643のカードが交付されている状況にあります。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

川村委員。

○（川村よし子委員） ページ数で18ページ、児童福祉費の町立保育園事業費の増と、先ほどの説明の中にシステム改修というようなことも話されたのですけれども、この一般職、非常勤職員報酬費の弁償ということなのですけれども、どのくらいの金額になるのか。

それから、非正規の方たちの報酬が上がるのですよね。ということで平均というか、どのくらいになるのか。それから、人数とかも教えてください。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菊池福祉・子ども課長。

○福祉・子ども課長（菊池由紀君） ただいまのご質問にお答え申し上げます。

このシステム改修はまた別ですが、18ページの町立保育園運営事業の一般非常勤職員の報酬の件は、産休に入る保育士がいますので、8月出産予定日の保育士がいますので、その分の7月から3月まで代替の保育士を見込んだ分の増でございます。ということをお答え申し上げます。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 長谷川和男委員。

○（長谷川和男委員） 19ページの7款商工費、1項5目の自然公園施設費についてお伺いをいたします。

これはどこの公園の工事になるかまずお伺いします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菊池産業振興課長。

○産業振興課長（菊池清美君） ただいまの質問にお答えいたします。

自然公園維持管理費の増の工事請負費ということでございますが、これはマレットゴルフ場、今は使えていないマレットゴルフ場、水辺の里の付近のところにある工事請負費でございまして、実はここにいろいろ遊具がございます。平成2年、3年当時につくった遊具ではないかと思われておりますが、これが37カ所あります、これについて撤去するという工事を行う予定となっております。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 長谷川委員。

○（長谷川和男委員） そこでお伺いをしたいのですが、その後どのような計画になるのかお伺いをします。そしてまた、この豪雨災害、あと2カ月で丸3年というふうなことになりますが、この豪雨災害等で復旧工事がほとんどもう着手し、完了もしている。この水辺の里、マレットゴルフ場を含めたこここのところは、今まで一切手つかずであったわけでございますが、マレットゴルフ場については、特に災害前は年1万人以上が利用し、特に健康日本一を目指している矢巾町としては、本当に自然に楽しみながら健康増進に役立っておった場所というふうに認識しておりますので、ぜひマレットゴルフ場の復活にこれから、撤去した後、今年度はどのような計画があるのか、あるとすればお聞きしたいと思います。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菊池産業振興課長。

○産業振興課長（菊池清美君） 長谷川委員のご質問にお答えいたします。

ことしについては、遊具を撤去して、その後に建設残土を入れる予定にしております。水害があつたことによって低いところというのは流されますので、流されるとなかなか、また復旧が難しいということで建設残土を盛って、今年度につきましてはならして、そこで終了

というふうになります。

今後の見通しということになりますけれども、今後の見通しについては、来年度以降になりますけれども、マレットゴルフ協会さんとお話しをしながら、またちょっと財政的な面もございますので総合的に考えまして、今急にという復旧は無理でございますけれども、年次計画を立てて順次進めてまいらなければいけないというふうに考えております。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員）　長谷川委員。

○（長谷川和男委員）　今課長からこれからの計画等が示されましたので、ぜひマレットゴルフ場の復活、水辺の里周辺の整備も含めてお願いをします。答弁はよろしいです。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員）　年次計画を立ててやるということですので、順調に進むようにひとつよろしくお願いしたいと思います。

そのほかございますか。

村松委員。

○（村松信一委員）　16ページの6款のカムムシの補正をつけていただいたところ、まず補正をつけていただきましてありがとうございました。それでお伺いしたいのは、JAさんとの協議をどのようにされているのか。やっぱりこのカムムシ対策というのは、JAさんと協議の上で、そして各組織にこの案内が来るわけでありますので、JAさんとの協議内容をちょっとありましたならば、教えていただきたいと思いますし、JAさんではどれくらい補助をしようとしているのか。そして合計しますと、どれくらいになるのか、その辺のところ、お伺いしたいと思います。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員）　菊池産業振興課長。

○産業振興課長（菊池清美君）　ただいまの村松信一委員のご質問にお答えいたします。

JAさんとは、またことしもお願いしたいということで、今年度につきましては61万6,000円という金額でお願いしたいということでございまして、30農家組合に対しまして一つのとおり大体88ヘクタール前後の用地が出てくると思いますので、これについておおむねスタークル25ヘクタール分、それからトレボンも25ヘクタール分、スミチオンも25ヘクタール分を予算計上しております、これらについて予算の範囲内でお願いできるかどうかということでお願いしてございます。30農家組合にお願いするわけですが、実際のところは8農家組合さんほど使用しないというところが出てきております。これは、多分恐らく個人防除しているところとかは多分申請をされないのでないかなということでございます。そういう

うことで残りの22組織農家組合さんにはお願いするというような形になろうかと思っております。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 赤丸委員。

○（赤丸秀雄委員） 21ページの10款教育費の2目公民館費、図書購入費についてお伺いします。

公民館の図書購入については、どのような基準でふやしていくのか、その辺まず1点お伺いしたいと思います。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 山本社会教育課長。

○社会教育課長（山本 功君） ただいまのご質問にお答えをいたします。

図書の選定の基準でございますが、まず今回の事業についてということ、一般的な話でございますか。

（「今回について」の声あり）

○社会教育課長（山本 功君） 今回につきましては、先ほど企画財政課長からも説明いたしましたとおり、県補助の地域経営推進費の中でも本による子ども子育て支援事業という補助金を使っての購入になりますので、購入する図書につきましては、子ども用の図書や育児技術、あるいはしつけとか人間関係、こういったふうなものの対象として購入をさせていただく予定でございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 赤丸委員。

○（赤丸秀雄委員） 今各小学校、特に教育振興の立場から子どもの読書時間をふやす取り組み、各学校やっております。やっぱりそういう時間をふやすには、子どもの読みたい本という部分が非常に大きいという話が出ておりますし、また先日はテレビの放映等でもそういう子どもが読みたい本を買ったら、読書時間が倍とか3倍とかふえたという事例もあります。ぜひ各小学校の教育振興大会出ておりますと、そういうところもありますので、今回は子育て支援関係の蔵書になるようですが、これからふやす上では、その辺も考慮して買っていただきたいと思いますが、その辺についてのお考えを伺います。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 越教育長。

○教育長（越 秀敏君） ただいまのご質問にお答えいたします。

小中学校の図書の購入につきましては、学務課のほうの予算でやっておりまして、教育振

興につきましては、今教育社会課長が答えるかと思いますけれども、各学校の図書購入におきましても、例えば昔から漫画の歴史ものを入れたり、それからキャリア教育というか、職業関係のを入れたり、スポーツのマガジン雑誌みたいなのを多く入れたりというふうにさまざま児童・生徒の趣向に合わせながら、昔としてはちょっと考えられないような図書の購入もしてまいっておりますので、今後とも児童・生徒の興味、関心に合った図書購入に努めてまいりたいと思います。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 山本社会教育課長。

○社会教育課長（山本 功君） 社会教育の部分につきまして私のはうから答弁をさせていただきたいと思います。

委員ご指摘のとおりでございまして、まずこの図書センターに移転する際に、当然新規の図書を購入したわけですが、その際に、各小中学校の学校図書、これのリストを全部頂戴しまして、それと重複しないようなものを選んで購入したということでございまして、これは当然長い年月の間にまた重複する可能性もありますが、極力そういったダブルないものを図書センターでは購入をしてまいりたいというように考えてございますし、あとはこれは教育振興運動の中で、いわゆる家庭での読書時間をふやそうと、そのために今よく言われておりますのは、メディアにゲームとかスマホ、こういったふうなもの、あるいはテレビも含めまして、そういうものの時間がかなり長くなっているということで、そういう時間を読書に向けられるように教育振興運動のほうでもどのようにしていったらいいのかということをいろいろと考えながら、あとは実践に移すように検討を進めておるところでございますので、そういうあわせて子どもたちの読書時間がふえるような対策を行っていきたいと思っております。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 赤丸委員。

○（赤丸秀雄委員） ありがとうございます。質問とはならないでしょうが、ぜひ今の図書センターに子どもさんたちというか、学生さんたちが結構出入りしているというか、利用されているというような状況ですので、ぜひ学校にない図書等も購入されて、利用率を高めるような取り組み、よろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございました。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

高橋安子委員。

○（高橋安子委員） 16ページなのですけれども、総務費のコミュニティ対策費、これにコミュニティ推進事業の増とございますけれども、具体的にどのようなことをされるのかお伺いいたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 藤原企画財政課長。

○企画財政課長（藤原道明君） ただいまのご質問、コミュニティ推進事業でございますが、春にも行いましたいわゆる花いっぱい運動がこの町民憲章推進事業ということで取り組んだところでございますが、今回補正に計上させていただきましたのは、国体に向けて歓迎の意をあらわすという意味で、また秋にも花植えを実施したいというふうに考えております。詳細については、今後詰めていくところでございますが、花苗の手配についてだけは早目にやらなければならないということもありましたので、今回まずこの100万円を計上させていただいたところでございます。さりとて大規模にお金もかけられないのかなと思っておりますので、実際の作業の部分は、相当ボランティアの方々をお願いしてというふうに考えております。いわゆるコミュニティのみならず企業関係、そして各種団体と思っております。申しわけございませんが、議員の皆様方にもひとつご協力をお願いしたいと思っておるところでございますので、その節はよろしくお願いしたいと思います。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 高橋安子委員。

○（高橋安子委員） ありがとうございます。それでもしその花植えをするとすれば、どの時期、いつごろやられるか教えていただきたいのですが。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 藤原企画財政課長。

○企画財政課長（藤原道明君） 時期でございますが、国体が10月中旬ということでございますので、遅くとも9月10日くらいまでには植え終わっていただきたいなと思っております。ただ、これはまだ粗々の企画段階ですので、今後花苗の手配の問題とか、いろんな関連する部分、県道になります、今考えているのは、県道の不動盛岡線でございますので、そこの草刈りの状況とか、県のほうといろいろ相談をしながらになってくると思いますが、いずれ国体のときにはきれいに咲いているという状況を実現したいと思っておるところでございます。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 高橋安子委員。

○（高橋安子委員） 今課長のお話でコミュニティとか、いろいろな団体、ボランティアに呼びかけてというお話でしたし、それから9月ごろというお話だったのですけれども、もしできれば、せっかくの何十年に1回の国体でございますので、ボランティア等だけではなく、もうちょっと時期を早めて夏休みの終わりごろにでも小学生、中学生、高校生も入っての活

動にしていただければと思いますが、その点はいかがでしょうか。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 藤原企画財政課長。

○企画財政課長（藤原道明君） ただいまご提言頂戴いたしましてありがとうございます。花苗の手配が間に合うようであれば、そういった方向も検討させていただきたいと思います。

ただ、ちょっと我々のほうでも懸念しているのが、いかんせん交通量がかなりある道路ということもありますし、作業をちょっと片側交互通行みたいな状態にしていかないと危ないのかなということもあります。そういったこともちょっと懸念しておりましたので、我々の今の段階では、中学生さんはお願いしてもいいのかなと、小学生はちょっとかなと思っていまして、そのところも含めてご提言ありましたことも総合的に考えながら検討させていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

川村よし子委員。

○（川村よし子委員） ページ数で18ページです。衛生費、環境衛生費の公害対策事業の増、これちょっとどのようなことなのかお伺いします。

それから、岩崎川の改修を今やっているのですけれども、JRの高架下にヒ素が出たというところ、報道されましたけれども、その対策はどのようにになっているのかお伺いします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 浅沼住民課長。

○住民課長（浅沼 仁君） ただいまの質問にお答えいたします。

まず環境の修繕料の件ですけれども、こちらのほうは毎年2回実施しております放射能測定機、こちらのほう平成23年から調査を行っておりますけれども、ちょっと最近誤差が出てるということで、やはり正確な数字をはからなければ、広報にもあげますので、そういったこともあります、これは放射能測定機を修理するものでございます。

それから、2点目の岩崎川の拡幅の関係のヒ素の関係でございますが、先日岩手日報にも記事が載ったわけですけれども、こちらのほう、県のほうの事業として行っておりますので、基本的には県の土木部と環境部のほうで調整をしまして、今後説明会も実施するということになっております。我々もその説明会を注視しておりますし、県の環境の担当のほうにも何か矢巾町でやることがあるのかといったようなこともお伺いしておりますが、今のところは県のほうで行いますので、何か要請があれば、こちらのほうでもお手伝いはしたいと思っております。

いずれにしましても、県のほうでも事前にいろいろ調査をしておりますので、今のところ

は特に影響はないものと考えております。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 川村委員。

○（川村よし子委員） ヒ素中毒とかあるのですけれども、矢巾町は工事が至るところでやつていて、医大のところとか、いろいろやっているのですけれども、その残土を山手のほうに運んでいるトラックも見かけるのですけれども、そのようなところの調査とかはどのようになっているのか教えてください。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菅原道路都市課長。

○道路都市課長（菅原弘範君） ただいまのご質問にお答えをいたしたいと思います。

先ほど住民課長がお話したとおり、これらにつきましては、一応県事業の中でどのようにやるかということで対策を練っている最中でございまして、うちのほうでは、いずれそっちの対策について注視しているところでございます。確かに残土につきましては、今まで持っている分もございますので、そういったそちらのほうにつきましても、いずれ調査して確認をしていくというお話は聞いておりますが、具体的にどのように処理していくかということについては、今現在検討中というお話を聞いておりましたので、今のところはちょっとまだその対策、どのようにしていくかというのはわからないというのが実態でございますので、ご理解いただきたいと思います。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 川村よし子委員。

○（川村よし子委員） そのヒ素のことでちょっと岩崎川の改修工事でヒ素が出たということで、やっぱり今までの予算よりも高くなるのではないかという、そういう町民の声とか、それからヒ素が出たということで、矢巾町はいっぱい工事やっているから、山手のほうは水源がたくさんありますので、そういうこれから農業に被害が出るとか、人体に、そういうのとかも声を聞きますので、やっぱり公害対策の中で放射能と同じように重視していかなければならぬと思うのですけれども、その辺どのようにお考えでしょうか。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 浅沼住民課長。

○住民課長（浅沼 仁君） ただいまのご質問にお答えいたします。

環境のほうといたしましては、河川の、岩崎川も対象でございますが、河川の水質検査、といったものもやってございますので、それで岩崎川につきましても今回工事の下流、上流も検査の対象になっておりますので、といった数字が出た場合には、それなりの対策を

とっていきたいというふうに考えております。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

高橋委員。

○（高橋七郎委員） 15ページの議会費の旅費なのですけれども、この旅費の件についてなのですけれども、何で今回補正なのか、何で当初予算に盛り込みできなかったのか、これが1点と。

それから、21ページの住宅改修費、これは工事費については、ちょっと先ほど説明ありましたけれども、具体的に棟数とか、工事内容、ちょっと外壁とかと話しましたけれども、もう一回お知らせをお願いできればなと思います。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 藤原企画財政課長。

○企画財政課長（藤原道明君） 1点目の議会のところの旅費の補正がなぜ今なのかというふうなお話、当初に盛り込めなかった理由というふうに捉えておりますけれども、それにつきましては、当初予算策定の段階でも要望関係は、こういったものの要望もあったわけでございますが、当初予算策定の段階では基本的に全体枠をある程度圧縮せざるを得ないという考え方の中であらゆるところで削減できるところがあるのではないかという面でいろいろ見て予算を策定したところでございまして、その中の一環としてこういったところにも手を入れさせていただいたというふうなところが実態でございます。

では、なぜ復活かというふうなことも出てくるかと思いますが、基本的にはこれまで議会の中でもいろいろなお話があったこともありますし、今後の職員の資質向上ということが必要だというふうな認識が最近強く出されておりまして、そのためには、やっぱり一定の研修が必要であろうというふうな考え方方に立ちました。そういう方針に改めるというふうな考え方方に立っております。その一環もありまして、議会のところも同様に、先進地の研修ということが主だというふうに伺っておりますが、こういったところに職員も同行させて、ぜひ勉強をというふうな考え方で今回補正として計上させていただいたところでございます。

1点目については以上でございます。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菅原道路都市課長。

○道路都市課長（菅原弘範君） それでは、私のほうから2点目ほうについてご説明をいたします。

こちらの住宅改修につきましては、一応三堤住宅4号棟を予定しております、当初のほ

うでも予算化はしておりますが、社会総合交付金の関係で計上はしておりますが、実はこの交付金対象が機能強化という部分に対してのみ対象となります。そちらの分は当初に予定をしておりました。ところが、やっぱり年数も経過しておりますので、そういった補修とか、あるいは去年もやりましたけれども、階段の中の塗装とか、そういった分も合わせてやったほうがやっぱりコスト的には別個にやるよりは安いのではないかということで今回そういった部分もあわせてやりたいということで計上させていただいているものでございます。

なお、現在の予定では、管理設計も業者さんにお願いしながらやりたいと考えております。少なくとも8月、9月くらいからスタートできるような体制でもっていきたいということから、今回計上させていただいておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員）　高橋委員。

○（高橋七郎委員）　議会費の旅費なのですけれども、今説明をいただきましたけれども、任期4年あるわけですけれども、何回考えているのか、そのところちょっとお知らせお願いしたいと思います。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員）　藤原企画財政課長。

○企画財政課長（藤原道明君）　現在考えておるところでは、2年に1度というふうなペースでということで考えておるところでございます。

以上です。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員）　そのほかございますか。

昆秀一委員。

○（昆秀一委員）　17ページの障害福祉費、障がい者支援事業の増で給付対象者がふえたということでしたけれども、どのくらいふえる予定でサービスはどのようなものがふえると予測しておられるのでしょうか。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員）　菊池福祉・子ども課長。

○福祉・子ども課長（菊池由紀君）　ただいまのご質問にお答え申し上げます。

例年5人ほどの前後の申請であります、お一人お一人金額が違うものでございます。医療費の状況も違うものでございますが、今年度200万円の当初予算でございましたが、既に2名申請しておりますが、今度新たに2名申請あります、その医療費の助成のところが高額、かなり高額なものでございます。その方の医療の内容ですが、腎臓疾患が特に高い、高額

医療費になりますし、生活困窮、生活保護受給者等になりますと10割が補助の対象になりますので、そういうこともありますて、当初予算をはるかに超えるものでございますので、執行していくための予算を計上させていただきましたので、よろしくお願ひ申し上げます。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

藤原委員。

○（藤原梅昭委員） ちょっと二、三確認したいのですが、まず1つは19ページ、圃場整備事業、県営農業競争力強化基盤整備事業となってますが、これは具体的な内容と場所、それを教えてください。

それから、その下の土木費の中の道路維持事業の増ということで3路線の舗装のようですが、具体的な場所、それを教えていただきたいと。

それから、22ページ、これは体育館の維持管理事業のようなのですけれども、具体的にどのような工事になるのか、その3点、教えてください。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菊池産業振興課長。

○産業振興課長（菊池清美君） ただいまのご質問にお答えいたします。

19ページの圃場整備事業の増ということで県営農業競争力強化基盤整備事業負担金200万円ということで、これにつきましては、煙山小学校の東側、その周辺ですけれども、矢次地区というところをおよそですが、今の段階ではまだ35ヘクタールぐらいの場所でございまして、これについては地権者76人おります。それで現在当初では50万円予算化しておりましたけれども、県のほうで予算がついたということで総額500万円のうち町が半分の250万円、県が250万円、50万円先に取っておりますので、今回200万円補正で上げたという中身でございます。

調査につきましては、28年度から調査、今年度から調査に入ります。31年度まで調査に入りまして、工事につきましては、一応これは県の予算でございますので、順調に進めば32年から35年の間で工事に入るという現段階では予算の関係もありますが、そういう計画で進めておるところでございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菅原道路都市課長。

○道路都市課長（菅原弘範君） それでは、私のほうから2点目の道路維持の工事の場所というところでございます。1カ所目につきましては、赤林地区でございまして、場所は前の議長さんの吉田秀一さん宅周辺のところの、あのあたりが少しやっぱり路面が悪くなっている

ということで路面の舗装補修をしたいと。あそこが2路線といいますか、縦、横の部分、ところでそこが2カ所程度ということと。

それから、もう一カ所は、南昌山線、春に開通したわけですが、事業区間以外、いわゆる5合目のほうのてっぺんといいますか、車で上がるところのちょっと手前までは事業区間以外になっておりましたが、若干以前修繕したところがちょっと亀裂が出ているところがございまして、やっぱりそういったところもこれから雨季に入りましたとして、大きくならないうちに手当しなければならないだろうということで、そういった補修を考えているところでございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 山本社会教育課長。

○社会教育課長（山本 功君） 私のほうから体育館の工事請負費の内容につきましてお答えをさせていただきます。

この工事請負費の中身は2つの工事でございます。まず1つが体育館の屋根が雨漏りをしているということで、これの修繕工事でございます。位置としては、屋根の西側のほうが雨漏りしているということでアリーナまで落ちてきている状況でございますので、早急な手当が必要だということで今回お願いするものでございますし、あともう一つが屋内消火栓に水を送る管が腐食によりまして漏水をしているということで、この状態ですと、当然火災が起きたときに屋内消火栓が使えないということでございますので、これも大至急手当が必要だということで今回お願いをするものでございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 藤原委員。

○（藤原梅昭委員） 場所はわかりました。

それから、17ページの国民保養センターの維持管理59万円ついていますけれども、この具体的な内容と、それから、先ほど自然公園の話があったわけですけれども、最近熊とかキツネ、タヌキまでは聞いていないですけれども、大分騒いでいるわけなのですけれども、その辺の対応状況というか、今後の対応をちょっとお伺いしたいのですが、山のほうだけではなく、何か北上川の周辺にまで行っているような、そういう話も有線でも流していましたので、その辺の対応状況をお聞きしたいのですが。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 佐々木健康長寿課長。

○健康長寿課長（佐々木順子君） ただいまの藤原委員のご質問にお答えをいたします。

保養センターの工事費の件につきましては、やまゆりハウスの個室の分にクーラーをつけるという工事でございます。かねてよりクーラーがついておりませんで、国体もありますし、利用している皆様から、ちょっとやっぱり暑いとかということで温暖化の関係もございまして、できるだけ快適に過ごしていただければということでこのたび補正をお願いするものでございますので、よろしくお願ひ申し上げます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員）　菊池産業振興課長。

○産業振興課長（菊池清美君）　ただいまのご質問にお答えいたします。

連日のように熊の目撃情報等が出ておりまして、なかなか対応に苦慮しておるところでございます。一応今のところもう既に目撃情報が30件ほど来ておりまして、例年であれば1年でこれくらいですが、今の段階でもうこのくらいですので、もうことしについては100件ぐらいいくのではないかというふうに危惧をしております。熊の目撃情報が出たたびに広報活動もしておりますし、それから獣友会とも連携をとって対応はしております。

それから、わなも10カ所ほど仕掛けではおりますが、なかなか入らないという状況ですが、今のところ1頭は捕獲して捕まえております。一応出た場合には、学校とか、それから保育園、そういう公共施設、近くにあるところの人が大勢な場所については、逐次連絡をして呼びかけはしておりますというような状況でございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員）　藤原委員。

○（藤原梅昭委員）　何頭いるかわからないですけれども、そのうちの1頭だと思うのですけれども、矢巾町で捕獲できる熊の数というのは、何か聞くところによると3頭しかできないとかお聞きしていますけれども、4頭、5頭、6頭といった場合には、何も手が打てない状況なのですか。その辺の連携の話をちょっとお聞きしたいのですが。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員）　菊池産業振興課長。

○産業振興課長（菊池清美君）　確かに今のところ3頭という枠はいただいてございますが、そのうち1頭は捕まつておるので、もう残り枠2頭ということですが、これはとる期間の有効期間がございまして、そのたびに申請をしておるということで、また特別枠というのがございまして、特別枠でこの間も1頭多く枠を確保していただいたので、そのときは、もし枠がいっぱいになったときは、現状との相談になろうかと、振興局との相談になろうかと思いますので、そのときは適宜対応してまいりたいというふうに思っております。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 藤原委員。

○（藤原梅昭委員） わかりました。ぜひ数に限らず、非常に危険な状況ですので、対応をお願いしたいなと思います。

それで熊だけではなく、何か鹿も出ているという話も聞いているわけなのですけれども、その辺の情報というか対応、もしやられているのであればお聞きしたいのですが。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菊池産業振興課長。

○産業振興課長（菊池清美君） 鹿も出たという確認は確かに得まして、現場には行っておりますけれども、実際には未確認で、そのまで終わってしまったということでございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 山本社会教育課長。

○社会教育課長（山本 功君） 私どものほうはカモシカが出た場合には、うちの文化財係のほうで対応しておりますので、お答えをいたします。

やはりカモシカのほうもたびたび出没しております、つい最近でありますと、医大のあたりに迷い込んだという例がございました。当然天然記念物ですので、出たといってどうすることもできなくて、要は、私どもまず係が、連絡が入れば係が行って現場を確認いたします。そのとき何をするかというのは、例えだけがをしているとか、何かそういった保護が必要な状態かどうかというのをまず第一に確認をしなければなりません。全く健康であるということであれば、あとはちょっと言葉は適切かどうかわかりませんが見守るしかないと、そして先ほど産業振興課からもありましたが、周辺の住民の方々に危害が及ばないように広報活動をするとか、そういうところしか方法、手段がないところが現状でございます。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

水本委員。

○（水本淳一委員） 今熊の話が出ましたけれども、けさ陣ヶ岡のほうで熊が出たということで消防車が回ってある聞いていましたけれども、古館駅前のほうからこの地域で熊が、そういうのが聞こえましたけれども、大田全体にもひょっとして被害が出ては困りますけれども、紫波町との連絡とかは、出た場合、境のあたり、そういうのは連携がとれているでしょうか。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菊池産業振興課長。

○産業振興課長（菊池清美君） ただいまのご質問にお答えいたします。

きのうも確かに宮手川付近で出まして、ちょうど紫波町と矢巾町の境、宮手川をずっと下っていって、陣ヶ岡からずっと歩いた形跡が、目撃情報が点々とありましたので、その際も紫波警察署から来ましたけれども、まずは紫波町さんに連絡があって、紫波町さんから矢巾町にもありますて、お互い立ち会いをして、警察と三者でどういうルートで歩いているのか、その歩いていった方向を見きわめて広報活動をしたということでございますので、連携はしておりますというところでございます。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほか。

小川委員。

○（小川文子委員） 20ページの都市計画総務事業の増の中で都市計画マスタープラン改定業務委託料の委託先と中身についてお知らせください。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 菅原道路都市課長。

○道路都市課長（菅原弘範君） それでは、ただいまのご質問にお答えをいたしたいと思います。

都市計画マスタープランにつきましては、平成16年に策定以来、もう12年目を経過しております。この間、医大あるいはスマートインターといったその部分が変わってきておりましたので、そういったものも網羅した形の中で再調整が必要だろうということで今回お願いするものでございます。

併せてやっぱりスマートインターができるということによりまして、工業系といいますか、物流系といいますか、そういった問い合わせ等も来ておることも事実でございますので、あわせてそういった物流系の場所も、なかなか町内には少なくなっているということもございますので、新規に例えば市街化調整区域を区域拡大するとか、そういったものが必要なのかどうかという部分も検討していきたいなということで考えております。

その契約相手先については、いずれこれから入札等で決めていきたいということでございますので、まだ入札先は決まっておりません。この予算がこれ次第、そういった準備に入っていきたいということでございます。

以上、お答えいたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） そのほかございますか。

（「ありません」の声あり）

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 保留があるということですので、浅沼住民課長から

お願いします。

○住民課長（浅沼 仁君） それでは、先ほど昆委員のほうからマイナンバーカードの決算の状況といいますか、昨年の状況ということでご質問ありましたけれども、住民課のほうのカードの発行のほうの予算についてお知らせいたします。

27年の決算ベースでは、総額で874万8,686円という事業費となっております。このうちJ-LIS、カードの発行に関する部分が746万2,000円ございます。そのほかは事務費となっております。

以上、27年の決算の状況をお答えいたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） よろしいですね、昆委員。

○（昆 秀一委員） これは町費ということで、国と町と合わせて。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 浅沼住民課長。

○住民課長（浅沼 仁君） 申しわけございません。歳入の部分についてちょっとお話しするのを落としておりました。補助金、国からの補助金ですが、742万7,000円となっております。申しわけございません。交付金は834万6,000円となっており、町の持ち出し分は40万2,686円となっております。

以上、お答えといたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 昆委員。

○（昆 秀一委員） これはカード発行にかかった手数料ということで、全部、システムから何からそういうマイナンバーカードにかかった費用ということでお聞きしているのですけれども。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 藤原企画財政課長。

○企画財政課長（藤原道明君） システム改修に関する分につきましては、現在手持ちに数字ございませんので、後ほどお答えしたいと思います。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 後刻ということでよろしいですか。それでは、よろしいですね。

これをもって付託を受けました補正予算議案の全体質疑を終わります。

日程第3 補正予算議案の審査報告書について

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 日程第3、補正予算議案の審査報告書についてを議題といたします。

付託を受けました補正予算議案に対する審査報告書の取りまとめを行いたいと思いますが、この後、分科会ごとに補正予算議案の可否を含めて附帯意見等の取りまとめをしていただき、それをもとに当職と3分科会会長4名で補正予算審査報告書の草案を作成したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） ご異議ないようありますので、ここで暫時休憩といたします。

副町長以下、参与の方々は退席されて結構あります。大変お疲れさまでございました。

午前11時11分 休憩

午前11時48分 再開

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 再開いたします。

ただいま各分科会の表決を含めた附帯意見等を参考に補正予算審査に対する報告書の草案を作成いたしました。

今からこれに対しまして皆様からご意見をお受けし、成案にしてまいりたいと思います。

ただいまからその草案を職員に朗読させます。なお、朗読は本文のみとさせます。

(職員朗読)

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） このように取りまとめいたしました。これに対しまして質疑、ご意見はございますか。

(「なし」の声あり)

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） それでは、お諮りをいたします。

この報告書を成案として議長に提出することに決定したいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） ご異議がないようありますので、この報告書を成案として議長に提出することに決定をいたしました。

予算決算常任委員会に付託された補正予算議案の審査及び審査報告書の作成の一切を終了いたします。

○予算決算常任委員長（山崎道夫委員） 以上をもちまして予算決算常任委員会を閉会をいた

します。

大変ご苦労さまでございました。

午前11時50分 閉会